

第 **99** 期
中間報告書

2022年4月1日

2022年9月30日

Contents

株主の皆様へ	P.1
セグメント別概況(連結)	P.3
トピックス	P.5
連結財務諸表	P.7
会社情報・株式情報	P.9



平素は格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申しあげます。

新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、医療従事者をはじめ感染拡大防止にご尽力されている皆様に深く感謝申し上げます。

当社グループはこの9月30日をもちまして、第99期の第2四半期累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）を終了いたしましたので、業績について概要をご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、米欧による金融引き締めを背景とした円安の進行、中国におけるゼロコロナ政策の実施等による、資源・材料価格の高騰や部材不足等の影響はあったものの、世界的な半導体の旺盛な需要を受け、半導体業界を中心に設備投資は引き続き堅調に推移いたしました。

このような景況の下で当社グループといたしましては、新たなステージでの安定した企業成長と社会のサステナブルな発展への貢献を目指した中期経営計画「SINFONIA NEW STAGE 2024」を策定し、当連結会計年度より取組をスタートいたしました。

当第2四半期累計期間においては、本中期経営計画で成長ドライバーと位置づける半導体分野で着実に受注を獲得しつつ、生産能力の増強に取り組むとともに、さらなる事業拡大に向けて新規顧客の開拓に尽力してまいりました。

次世代ビジネスの創出に向けては、英国医薬品・医療製品規制庁の下部組織であるUK Stem Cell Bank殿と自動細胞培養装置の実証試験を開始いたしました。また、公益財団法人神戸医療産業都市推進機構殿の施設内に開設したソリューションラボでは、iPS細胞や間葉系幹細胞の製造実績を着実に積み上げており、医療分野の事業化に向けて大きく前進いたしました。

企業集団の連結業績につきましては、材料価格の高騰や部材不足の問題があったものの、販売価格の改善や安定的な調達に努め、受注高は685億96百万円（前年同期比33.6%増）、売上高は490億54百万円（同22.7%増）となりました。損益面につきましては、経常利益は43億60百万円（同160.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億47百万円（同174.8%増）となりました。

中間配当につきましては、例年どおり実施は見送り、期末配当として一括して実施することといたしますので、株主の皆様には何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、金融引き締めに伴う米国経済の急減速、ゼロコロナ政策継続による中国経済の下振れ、ロシア・ウクライナ情勢の深刻化などが懸念されます。国内においては景気の持ち直しが期待されますが、海外におけるリスクを背景に、設備投資の回復が鈍化するおそれがあるなど、先行きの不透明感は継続すると予想されます。

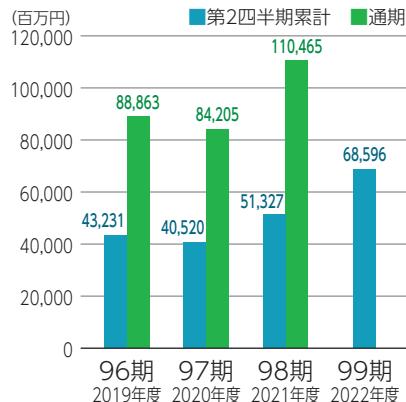
企業理念

「一歩先を行く技術」
「地球を大切に作る心」
「思いやりのある行動」

私たちはこの3つを大切に
人から宇宙まで

豊かな暮らしと社会の発展に貢献します。

受注高



このような情勢の中で当社グループといたしましては、半導体分野向け製品の開発及び事業化を目的として、2022年4月に半導体事業推進室を設置し、また、さらなる事業拡大に向けてクリーン搬送機器事業を同年10月にクリーン搬送システム本部として独立させるなど、同分野における事業体制をさらに強化いたしました。今後も中長期的な成長が見込まれる同分野に、引き続き注力してまいります。

開発面においては、今後、市場の拡大を期待している半導体、物流、エネルギーといった成長分野に重点を置き、また、当社の環境ステートメント「ECOing」に基づき、環境負荷低減に向けて製品の電動化開発等に取り組むなど、新製品創出や事業領域拡大に努めます。

生産面においては、自動化やデジタル化により生産能力の向上を進め、調達面においては、材料価格の高騰や部材不足の問題に対して、代替品の探索などに継続して取り組みます。

さらに、グローバル事業拡大に向け、アジア・北米地域を中心に現地法人の機能強化を図ってまいります。

これからも、株主の皆様、顧客の皆様から評価していただけますよう、さらに企業価値を高め、成長し続ける企業集団となるべく、グループを挙げて努力を重ねてまいります所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長

代表取締役社長

武藤 昌三

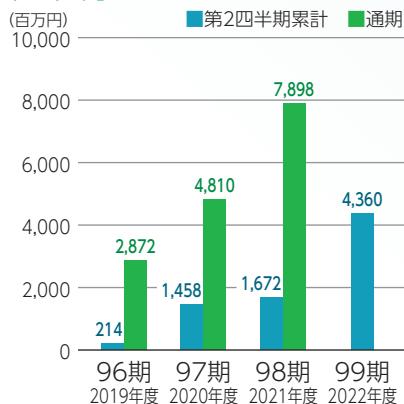
平野 新一

2022年11月

売上高



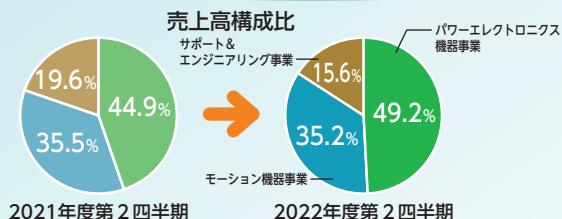
経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



セグメント別概況(連結) Overview by Segment



当社グループの事業セグメントは、「パワーエレクトロニクス機器事業」「モーション機器事業」「サポート&エンジニアリング事業」の3つで構成しております。

セグメント別の当第2四半期売上高構成比は、左グラフの通りパワーエレクトロニクス機器事業が前年同期比4.3ポイント増の49.2%、モーション機器事業が前年同期比0.3ポイント減の35.2%、サポート&エンジニアリング事業が前年同期比4.0ポイント減の15.6%となりました。

当上半期におけるセグメント別の概況は以下の通りです。

パワーエレクトロニクス機器事業

受注高 366億 32百万円
(前年同期比 54.3%増)

売上高 241億 46百万円
(前年同期比 34.4%増)

営業利益 33億 13百万円
(前年同期比 328.0%増)

半導体製造装置向けの需要が好調なクリーン搬送機器や社会インフラシステムでの増加により、受注高は366億32百万円(前年同期比54.3%増)となりました。売上高はクリーン搬送機器や産業インフラシステムでの増加により、241億46百万円(同34.4%増)となりました。損益面につきましては、売上高の増加及び為替影響等により、営業利益は33億13百万円(同328.0%増)となりました。



クリーン搬送機器

精密なデバイス加工精度と高度なクリーン搬送技術が求められる半導体製造工程において、世界のトップブランドとして信頼を集めています。大気搬送技術はもちろん、独自開発のN₂パージ機構を持つロードポートや真空搬送技術で、より微細化と歩留まり向上の要求が高まる半導体メーカーの期待に応えています。



振動機器

振動機器のトップメーカーとして、食品・化学・リサイクルなど、あらゆる業界へ振動コンベヤ等を提供。また、スマートフォン等に使われる微小部品からネジなどの大形部品まで様々な生産・加工ラインにおける部品供給・整列搬送システムを提供しています。



社会インフラシステム

上下水道の監視制御システム、道路管理用電気設備、さらには再生可能エネルギー発電装置を核とした小規模スマートグリッドシステムなどを提供。安心と快適、そして省エネルギーを実現しながら信頼できる社会インフラを支えています。



自動車用試験装置

スピーディーな開発や安全性が求められる自動車産業において、衝突試験装置等の各種実験装置・検証装置を数多く提供。ハイブリッド自動車・電気自動車など、時代の要求に応える最先端自動車の開発に貢献しています。



産業インフラシステム

地下街や大規模施設の空調設備に利用される冷凍機用モータ、液化天然ガスの汲み上げに使われるモータ、駐機中の航空機に電源供給する空港用電源車、産業施設・オフィスビル・レジャー施設等の常用・非常用・コージェネレーション用の発電機、様々な現場ニーズに応えるリフマグ®、最先端の金属素材開発を実現する真空溶解炉などを提供しています。

モーション機器事業

受注高 199億 93百万円
(前年同期比 13.6%増)

売上高 172億 76百万円
(前年同期比 21.5%増)

営業利益 6億 59百万円
(前年同期比 58.2%増)

半導体製造装置用機器や繊維機械向けのアクチュエータ、産業機械向け電磁ブレーキが好調であったことから、受注高は199億93百万円（前年同期比13.6%増）、売上高は172億76百万円（同21.5%増）となりました。損益面につきましては、売上高の増加により、営業利益は6億59百万円（同58.2%増）となりました。



航空宇宙

我が国唯一の航空機用電源システムメーカーとして、発電機をはじめとした航空機用電装品等を提供。また、ヘリコプター用レスキューホイストなど人命救助に役立つ製品からロケット用制御システムなど宇宙分野で活躍する製品まで幅広く提供しています。



大型搬送システム

巨大な航空機の牽引をはじめ、乗客の乗り降り、貨物の搬入搬出を担う空港用地上支援車両など、空港運営に不可欠な重量物搬送を行う特殊車両を提供。さらに、港湾、倉庫、造船所における超重量物搬送で活躍する産業用特殊車両など、用途に特化した各種車両を提供しています。



モーションコントロール機器

産業用電磁クラッチ・ブレーキからOA機器用マイクロ電磁クラッチ、自動車用電磁クラッチ、自動車用制御装置、鉄道用ブレーキ、建設機械用コントローラ、産業用サーボアクチュエータなど、豊富なバリエーションを提供。様々な機器の動作制御に関わるモーションシステム製品を幅広く提供しています。



プリンタシステム

アミューズメント施設や街中で見られるシールプリンターやカードゲーム機、各種プリントサービスに使われている昇華型プリンタを提供。世界最速・最高解像度を実現し、世界初の両面プリンタやツインヘッド方式によるホログラムプリンタを開発するなど、プリント&ビジュアル分野の可能性を広げています。

サポート&エンジニアリング事業

受注高 119億 70百万円
(前年同期比 19.9%増)

売上高 76億 31百万円
(前年同期比 2.4%減)

営業損失 1億 85百万円
(前年同期は営業利益4億48百万円)

半導体製造工場向け搬送設備工事等の増加により、受注高は119億70百万円（前年同期比19.9%増）、売上高は病院向け搬送設備工事の減少により、76億31百万円（同2.4%減）となりました。損益面につきましては、売上高の減少と工事案件の採算性低下等により、営業損失は1億85百万円（前年同期は営業利益4億48百万円）となりました。



シンフォニアエンジニアリング(株)

当社製品の保守・サービス業務、公共、民間の電気工事、管工事、搬送工事等の設計施工業務及び情報機器（券売機、入退場システム等）の製造・販売・サービス業務を主要事業として展開しております。



(株)S & S エンジニアリング

病院内搬送をメインに、移載・収納・保管を含むトータルな搬送システムの導入計画立案から設計、施工、メンテナンスまで一貫した取組で、最適な搬送ソリューションを提供しています。

サポート&エンジニアリング事業は、上記2社の他、保険代理業、運送業、労働者派遣業や当社グループ内の経理・給与業務を請け負うシンフォニア商事(株)、ソフトウェア開発やOA機器の販売を行う(株)アイ・シー・エスにより構成されています。

自動細胞培養装置の実証試験を開始

当社は、英国医薬品・医療製品規制庁の下部組織であるUK Stem Cell Bank（略称：UKSCB）殿と、自動細胞培養装置の実証試験を開始しました。

UKSCB殿は英国を代表する細胞バンクであり、再生医療に用いられるヒト多能性幹細胞（iPS細胞等）を増やして研究機関や企業に広く提供しています。一般的に、iPS細胞等は培養が非常に難しく、UKSCB殿でも熟練したスタッフによる手作業での製造が主体です。今後、再生医療を多くの患者様に届けるためには、iPS細胞等を安定して大量に製造することが必須であり、細胞培養を自動化することが広く求められています。

当社はこうした課題を背景に、2021年9月には、公益財団法人神戸医療産業都市推進機構殿と共同で自動細胞培養装置「CellQualia（セルクオリア）」を開発しました。本装置は、無菌性を保つため全ての工程を閉鎖空間としているほか、培養途中で細胞の生育状況を確認することが可能であり、熟練者による手作業と同等の高品質な細胞を安定的に製造できる次世代型の装置です。当社はこれまで、本装置を用いてiPS細胞等の製造実績を着実に積み上げてきました。

今般、UKSCB殿の細胞培養施設内に本装置を設置し、手作業と同等の品質のiPS細胞等が自動製造できることについて、実証試験を開始しました。利害関係のない第三者機関から評価されることで信頼性が高まり、本装置が普及することにより、質の良い再生医療が安価に提供される未来が少しでも早く実現することを期待しています。



セルクオリア及び装置内部（左・中）、培養された細胞（右）

半導体関連の事業展開

当社グループの中期経営計画「SINFONIA NEW STAGE 2024」では、半導体関連分野に注力し、同分野に関する売上構成比率を上昇させ、成長ドライバーとしての位置づけを着実なものとするべく取組を進めています。

2022年10月に独立させたクリーン搬送システム本部の主力製品であるロードポート、EFEMや真空搬送システムなどの半導体製造装置用機器以外にも、活況な半導体業界向けに事業を展開していますのでご紹介します。

・産業インフラシステム

当社では、長年にわたり培ってきた真空技術及び誘導加熱技術によって真空溶解炉を製作しており、半導体金属材料の製造用としても採用されています。スマートフォンやPC等の高性能化が進む先端半導体材料には、金属の高純度化が可能な真空溶解炉は欠かせないものとなっており、さらなるニーズに応えるべく商品開発に注力しています。



真空溶解炉

・モーションコントロール機器

半導体の微細化、多層化に伴い、半導体関連装置の搬送系においても高精度化が求められています。当社のダイレクトドライブモータは、従来の駆動機構からの高精度化や機構のシンプル化にも適していることから、ウェーハ搬送ロボット等向けに採用されており、さらに最適なダイレクトドライブモータを提案すべく開発に取り組んでいます。



ダイレクトドライブモータ

無励磁作動形電磁ブレーキ

また、半導体工場の搬送システム向け電源や、無励磁作動形電磁ブレーキ（通電オフ時に搬送システムの動作を止め姿勢を保持するブレーキ）などを展開しています。

2022年4月に設置した半導体事業推進室を中心に、今後も当社の多彩な技術が奏でるシンフォニーで新たな製品を創出し、中長期的な成長が期待される半導体業界でのメニュー拡充を進めてまいります。

連結貸借対照表 (2022年9月30日現在)

(単位：百万円)

資産の部	
流動資産	69,706
現金及び預金	7,846
受取手形、売掛金及び契約資産	33,105
商品及び製品	2,278
仕掛品	12,954
原材料及び貯蔵品	12,950
その他	688
貸倒引当金	△117
固定資産	49,206
有形固定資産	31,697
建物及び構築物（純額）	11,014
土地	14,626
その他（純額）	6,056
無形固定資産	1,687
投資その他の資産	15,822
投資有価証券	10,185
その他	5,947
貸倒引当金	△310
資産合計	118,913

負債の部	
流動負債	45,880
支払手形及び買掛金	19,964
短期借入金	9,473
1年内返済予定の長期借入金	3,144
未払法人税等	1,291
製品保証引当金	394
受注損失引当金	603
その他	11,007
固定負債	17,544
長期借入金	11,606
役員退職慰労引当金	113
役員株式給付引当金	68
環境対策引当金	16
退職給付に係る負債	2,852
その他	2,886
負債合計	63,424
純資産の部	
株主資本	43,847
資本金	10,156
資本剰余金	452
利益剰余金	35,192
自己株式	△1,955
その他の包括利益累計額	11,641
その他有価証券評価差額金	4,635
土地再評価差額金	3,913
為替換算調整勘定	828
退職給付に係る調整累計額	2,264
純資産合計	55,488
負債純資産合計	118,913

連結損益計算書 (2022年4月 1日より 2022年9月30日まで)

(単位：百万円)

売上高	49,054
売上原価	37,600
売上総利益	11,454
販売費及び一般管理費	7,744
営業利益	3,709
営業外収益	823
受取利息及び配当金	206
為替差益	544
その他	73
営業外費用	173
支払利息	68
その他	104
経常利益	4,360
税金等調整前四半期純利益	4,360
法人税等	1,312
四半期純利益	3,047
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,047

連結キャッシュ・フロー計算書 (2022年4月 1日より 2022年9月30日まで)

(単位：百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	△647
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,351
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,014
現金及び現金同等物に係る換算差額	97
現金及び現金同等物の増減額	△887
現金及び現金同等物の期首残高	8,733
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,846

会社概要

会社名	シンフォニアテクノロジー株式会社
設立	1949年（昭和24年）8月
創業	1917年（大正6年）5月
資本金	101億5,696万円
従業員	3,771名（連結）
本社所在地	東京都港区芝大門一丁目1番30号 芝NBFタワー

株式の状況

発行可能株式総数	116,000,000株
発行済株式の総数	28,363,164株（自己株式1,425,958株を除く）
株主数	12,410名
大株主（上位11名）	

株主名	持株数	持株比率	
		千株	%
日本マスタートラスト信託銀行(株)（信託口）	2,948	10.39	
日本マスタートラスト信託銀行(株) （退職給付信託口・(株)神戸製鋼所口）	1,835	6.47	
シンフォニアテクノロジーグループ 従業員持株会	1,032	3.64	
ダイキン工業(株)	1,017	3.59	
(株)日本カストディ銀行（信託口）	930	3.28	
シンフォニアテクノロジー取引先持株会	910	3.21	
大日本印刷(株)	732	2.58	
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/ LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	475	1.67	
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	451	1.59	
ナブテスコ(株)	400	1.41	
神鋼商事(株)	400	1.41	

- (注) 1. 日本マスタートラスト信託銀行(株)（退職給付信託口・(株)神戸製鋼所口）の持株数1,835千株は(株)神戸製鋼所から同信託銀行へ信託設定された信託財産です。信託約款上、当該株式の議決権の行使についての指図権限は(株)神戸製鋼所が保有しております。
2. 当社は、自己株式を1,425千株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
3. 持株比率は自己株式（1,425千株）を控除して計算しております。

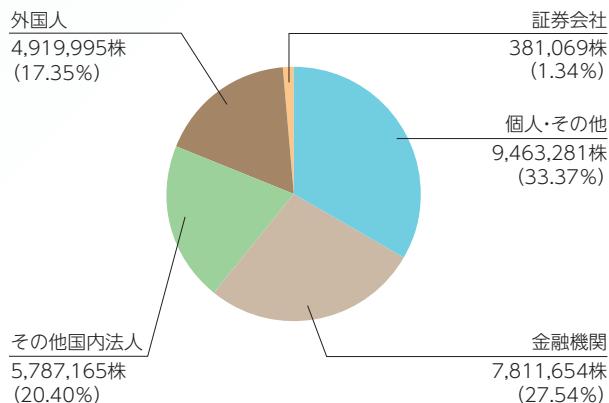
主要な営業所及び工場

支社	大阪、名古屋
支店	九州（福岡）
営業所	東北（仙台）、新潟、北陸（富山）、静岡、三重（伊勢）、中国（広島）
工場	伊勢製作所（伊勢、鳥羽）、豊橋製作所

主要な子会社の本社所在地

シンフォニア商事(株)（伊勢）
 シンフォニアエンジニアリング(株)（伊勢、東京）
 (株)アイ・シー・エス（伊勢）
 (株)大崎電業社（東京）
 (株)S&Sエンジニアリング（東京）
 シンフォニアマイクロテック(株)（明石）
 昕芙旋雅機電（香港）有限公司（中華人民共和国・香港）
 昕芙旋雅機電（東莞）有限公司（中華人民共和国・東莞）
 SINFONIA MICROTEC(VIETNAM)CO.,LTD.(ベトナム社会主義共和国・ハナム)
 SINFONIA TECHNOLOGY(THAILAND)CO.,LTD.(タイ王国・サムットプラカーン)
 昕芙旋雅商貿（上海）有限公司（中華人民共和国・上海）

所有者別株式分布状況



役員

取締役及び監査役

代表取締役会長	武藤昌三
代表取締役社長	平野新一
取締役	坂本克之
取締役	千手裕治
取締役	山国隆一
取締役	幡野隆一
社外取締役(非常勤)	重河和夫
社外取締役(非常勤)	結川孝一
社外取締役(非常勤)	佐古達信
監査役(常勤)	堀悟司
社外監査役(常勤)	大西健司
社外監査役(非常勤)	下谷收
社外監査役(非常勤)	藤岡純

執行役員

※常務執行役員	坂本克之
※常務執行役員	千手裕治
※常務執行役員	山国隆一
※常務執行役員	幡野隆一
執行役員	花木敦司
執行役員	溝端浩輝
執行役員	中村俊樹
執行役員	加藤清巳
執行役員	吉原宗祐
執行役員	佐伯英一郎
執行役員	林和孝
執行役員	瀬田学
執行役員	稲垣努
執行役員	相澤純也

- (注) 1. 当社は、重河和夫、結川孝一、佐古達信、大西健司、下谷 收、藤岡 純の6氏を(株)東京証券取引所の定めに基づく独立役員として同取引所に届け出ております。
2. 上記※印の者は、取締役を兼務しております。

単元未満株式(1株~99株)買増及び買取請求のご案内

当社株式の証券市場での取引は100株単位となっており、単元未満株式を市場で売買することはできません。

当社では、「単元未満株式買増請求制度」または「単元未満株式買取請求制度」のいずれかの制度を選択してご利用いただけますので、ご案内申し上げます。

買増請求制度 株主様がご所有の単元未満株式と合わせて単元株式(100株)となるように、市場価格で当社から購入することを請求できる制度です。

買取請求制度 株主様がご所有の単元未満株式を、市場価格で当社に売却することを請求できる制度です。

具体例 株主様が180株をご所有の場合



単元未満株式の買増・買取、住所変更等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座にて管理されている株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

特別口座から一般口座への振替えについて

株券電子化に際して、証券会社等に株券を預けられていなかった株主様の株式は、三井住友信託銀行株式会社の特別口座に記録されています。特別口座に記録されている株式につきましては、株主様が保有株式の管理を簡便にするため、証券会社等の口座(一般口座)に振替えていただくことをお勧めいたします。

ご所有の株式が特別口座に記録されているかご不明の場合や、一般口座への振替えのお手続につきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお問い合わせください。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
(その他必要あるときは予め公告します。)

上場取引所 東京証券取引所 プライム市場

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

特別口座の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 TEL 0120 (782) 031 (フリーダイヤル)



シンフォニア テクノロジー 株式会社

〒105-8564
東京都港区芝大門一丁目1番30号 芝NBFタワー
TEL 03 (5473) 1800
<http://www.sinfo-t.jp>

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



この印刷物はFSC®認証紙を使用しています。 この印刷物は植物油インキで作成されています。